



作文1部

全国農業協同組合中央会会長賞

ぜん こくのうぎようきようどうくみ あいちゅうおう かい かいちようしやう

## じいじのおこめ

栃木県 那須塩原市立西小学校 一年

前垣 百

わたしのじいじは、おこめをつくっています。わたしはあかちゃんのところから、じいじのおこめをたべておおきくなりました。いえのまわりにはたんぼがあつて、ちいさいころから、じいじのたうえきにのせてもらったり、たねまきをてつだったりしています。

じいじはおこめづくりがじょうずです。じいじのおこめは、とてもおいしいです。とくに、ばあばがつくってくれるおにぎりは、おいしくてだいすきです。

わたしはじいじに、

「どうしてじいじのおこめはおいしいの。」

ときいてみました。するとじいじはむねをばんばんたたいて、

「おこめのこえをきいて、こころをこめてつくつているからおいしいんだ。」

といっていました。わたしはおこめのこえをきいたことがないのでそうぞうしてみました。きつとよくかんさつして、おこめがほしいえいようや、おみずをあげることかなとおもいます。じいじは、たくさんたんぼをつくっています。まいにちあちこちのたんぼにいて、おこめのせわをしています。おこめにもいのちがあつて、じいじはいのちをたいせつにそだてているのだとおもいました。

わたしはときどき、ママときんじよのひとといっしょにごみひろいにいきます。たんぼのよこにはごみがおちています。わたしは、ごみをみるとおこりたくなるし、かなしいきもちになります。ごみをすてるひとは、おこめをそだてているひとのきもちをそうぞうしてほしいとおもいます。

わたしはじいじのきもちをしって、いままでよりもじいじのおこめがすきになりました。そして、ありがとうのきもちでごはんをたべたいとおもいました。わたしは、じいじがこころをこめてつくつたおいしいおこめをたくさんたべて、これからもおおきくなりたいです。